

I 栃木県ケアラー実態調査

1 調査時期 令和5（2023）年6月上旬から1か月程度を予定

2 調査内容

調査区分	調査対象	調査方法	回収方法	調査項目
ケアラー本人	①地域包括支援センター利用者 （センターが対象者を抽出） 県内約100か所×5人＝500人 ②基幹相談支援センター・障害者相談支援事業所利用者 （センター・事業所が対象者を抽出） 県内約240か所×3人＝720人	①地域包括支援センターから調査対象者へ調査票を配布 （※市町経由） ②基幹相談支援センター・障害者相談支援事業所から、調査対象者へ調査票を配布	県へ直接郵送回答	「資料7-1」の項目一覧表のとおり
相談支援機関等	①地域包括支援センター （約100か所） ②基幹相談支援センター・障害者相談支援事業所 （約240か所） ③民生委員・児童委員 （単位民児協会長 179人）	①各相談支援機関へ調査票を配布 ②各相談支援機関へ調査票を配布 ③法定単位民児協会会長へ調査票を配布（市町民生委員児童委員協議会を経由）	県へ直接郵送回答	「資料7-2」の項目一覧表のとおり
医療機関	①認知症疾患医療センター指定医療機関 ②難病診療連携拠点病院 ③高次脳機能障害に対応可能な医療機関 ④医療的ケア児支援医療機関 10か所程度	各医療機関へ調査票を配布	県へ直接郵送回答	「資料7-3」の項目一覧表のとおり

※ヤングケアラー実態調査は、令和4（2022）年度に実施済

II 県政世論調査

1 調査時期 令和5（2023）年6月上旬～令和5（2023）年6月下旬

2 調査内容 43問程度（うち、ケアラーについて3問）